

JMP®での計算式の作成

この資料では 2 種類ある JMP での計算式の作成方法をご紹介します。計算式では JMP に組み込みの関数、定数、既存の変数を使い変数の変換や導出を行えます。

方法 1 (計算式エディタによる計算式の作成)

1. JMP データテーブルから、列 > 列の新規作成を選択します。
2. 列名に、列の名前を入力します。この例では販売利益率%と入力します。
3. 列プロパティをクリックし、計算式を選択します。そうすると JMP 計算式エディタが開きます (右図参照)。
4. 計算式を作成するために、比率を計算し 100 倍します。

- テーブル列から利益(\$M)を選択します。
- キーパッドで割り算の記号をクリックします。
- テーブル列から売上(\$M)を選択します。
- (比率を囲む)外側の灰色のボックスをクリックします。
- キーパッドで掛け算の記号をクリックします。
- キーボードで"100"とタイプし OK をクリックします。



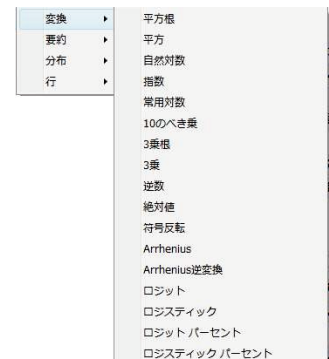
例: Companies.jmp (ヘルプ > サンプルデータ)

これでデータテーブル上に各観測値に対して計算された利益(\$M)/売上(\$M)の%値が表示されます。

方法 2 (仮想列を使った計算式の作成)

JMP の起動ウィンドウもしくはデータテーブルから、利用可能な計算式関数を表示させるために 1 つもしくは複数の列の上で右クリックします:

- **変換:** 一般的な変換を実行 (右図参照)。
- **文字:** 基本的な文字関数を提供 (例: 連結)
- **組み合わせ:** 選択された列から導出される数値列を作成
- **要約:** 要約関数による数値列を作成 (例: 平均)
- **分布:** 中心化や標準化を実行 (例: 標準化スコア)
- **日付時間:** 日付や時間の関数を提供 (例: Day, Month)
- **行:** 行関数を実行 (例: 正規乱数)
- **計算式:** ユーザ指定の計算式で値を計算



1. **起動ウィンドウ**で実行したい関数を選ぶと、JMP は現在の分析で利用可能なイタリックで表示される仮の (仮想的な) 列を作成します。この仮の列を計算式の列としてそのデータテーブルに追加するためには、列上で**右クリック**して **データテーブルに追加**を選択します。これにより新しい列が追加され計算式エディタからアクセス可能な計算式が作成されます。
2. **データテーブル**では、1 つ (もしくは複数) の列ヘッダー上で**右クリック**し、**計算式列の新規作成**を選択し、用意された計算式関数ですぐに列を作成するために関数を選択します。



注意: 列から**計算式エディタ**にアクセスするためには列名を**右クリック**して**計算式**を選択します。一般的な**変換**は計算式エディタで**関数 > 超越関数**から利用できます。計算式作成の詳細については JMP のヘルプか **JMP の使用法**(ヘルプ > ドキュメンテーション)で**計算式エディタ**または**仮想列**で検索してください。